



1

◎今日やること

0. 9坪ハウスとは?
1. 制作内容
2. 生徒作品紹介
3. 制作：ワークシート①

2

そもそも・・・

Q.『9坪ハウス』って？

3

◎『9坪ハウス』

- 株式会社boo-foo-woo(ブーフーウー)によって開発・販売され、数々の建築家によってリメイクされている**デザイン住宅シリーズ**
- 目的：デザイナーや建築家等が手掛けた高品質の住宅を、**気軽に購入できるようにし、一層に広く普及させる**

4

◎9坪ハウスの原形『**最小限住居**』

- ・1952年、建築家・岩間啓博（いわたけひろひろ）氏によって建てられた
- ・生活に必要な要素がコンパクトに納まった、シンプルでモダンな住宅デザインとして当時から注目

5

●9坪ハウスの特徴：『5つの原則』

- ①汎用性と美学
- ②空間の連続性
- ③単純性・合理性
- ④建築性・柔らかさ
- ⑤比率・内外の一体化

広さ、単純さ、機能性、コスト、経済性

6

●9坪ハウスの特徴：『5つの原則』

①汎用性と美学

平面は正方形  
(3間×3間=約5.5m)のプラン  
※1間(いちげん)→約1.82m(1820mm)

7

8

9

● 9坪ハウスの特徴：『5つの原則』

②空間の連続性

3坪(約9.9m)の吹き抜けをつくる

※1坪=約3.3m<sup>2</sup>

10



11

● 9坪ハウスの特徴：『5つの原則』

③単純性・合理性

外形は、14.8尺(約4.5m)の切妻屋根

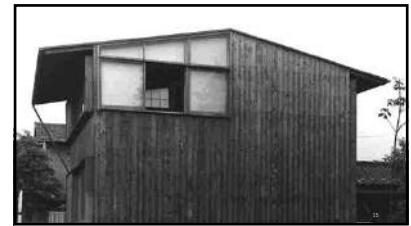
12



13



14



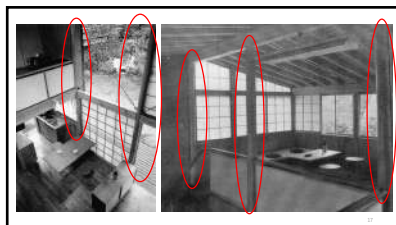
15

● 9坪ハウスの特徴：『5つの原則』

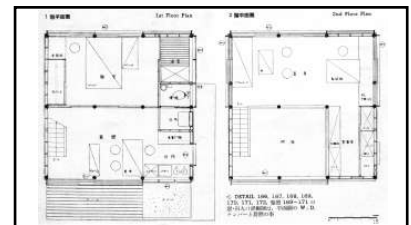
④建築性・柔らかさ

丸柱を用いる

16



17



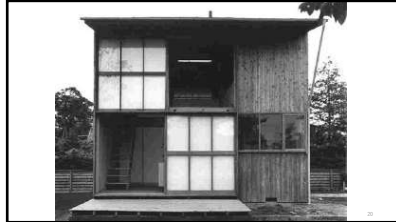
18

● 9坪ハウスの特徴：『5つの原則』

⑤ 比率・内外の一体化  
メインファサードに開口部を設ける



19



20



21

1. 制作内容

22

● テーマ  
9坪ハウス-私の空間-

● 内容  
自分にとって快適な空間づくりについて考え、9坪の内部空間を構成する

● 制作物  
① 簡易図面  
② 縮尺模型



23

● 目標

- ① 空間の構成力、ボリューム感、スケール感を養う
- ② 簡易図面、縮尺模型制作に必要な材料・道具の扱い方、図記号の表示等、基本的な知識・技能を習得する
- ③ 住まいの内部空間設計を通して人とモノと空間の関係性、デザインの生活・社会との関わり方についての考えを深め、制作を通して学んだことを自身の生活に活かす

24

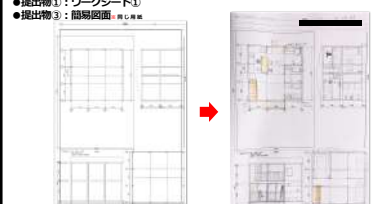
● 制作スケジュール

※全6回

- ① (今日) 制作概要説明、作品鑑賞、コンセプト立案・構想まとめ (ワークシート①提出)
- ② レクチャー、簡易図面制作
- ③~⑤ レクチャー、模型制作
- ⑥ 仕上げ、相互鑑賞、撮影 (ワークシート②、簡易図面、模型提出)

25

● 提出物①：ワークシート①  
● 提出物②：簡易図面、模型制作



26

● 提出物②：制作物のまとめ資料



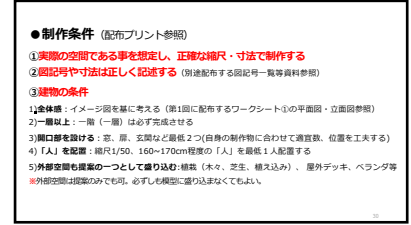
27



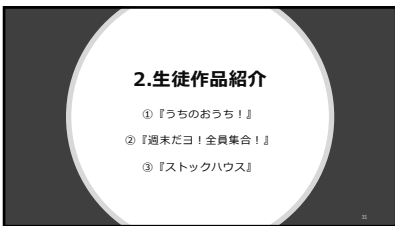
28



29



30



31



32



33



34



35



36



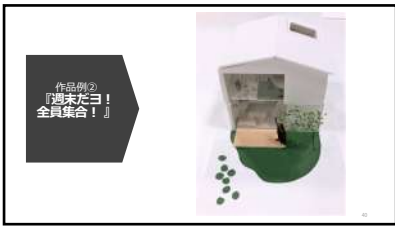
37



38



39



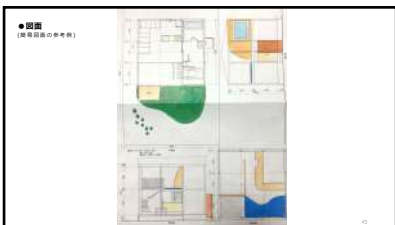
40



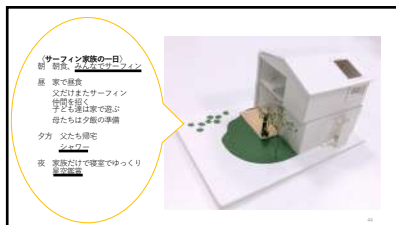
41



42



43



44



45



46



47



48



49



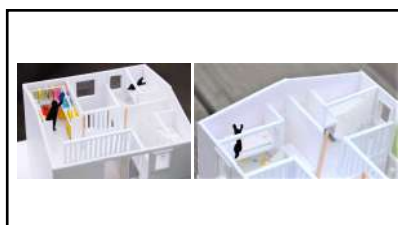
50



51



52



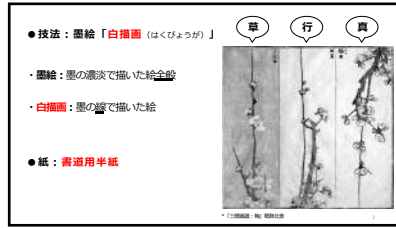
53



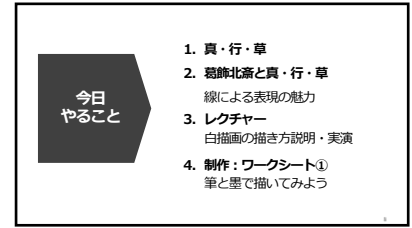
54



1



2



3



4



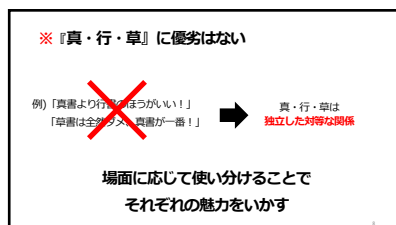
5



6



7



8



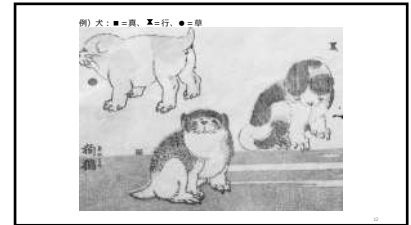
9



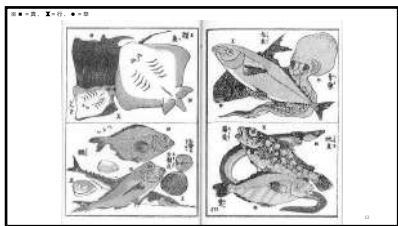
10



11



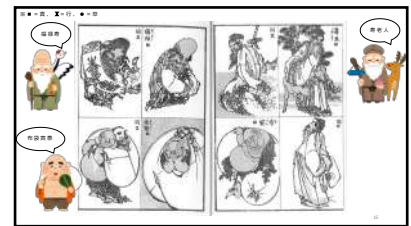
12



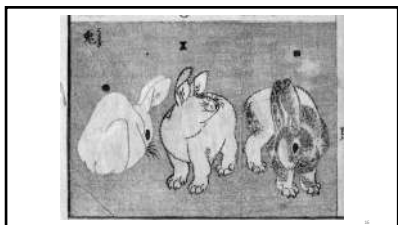
13



14



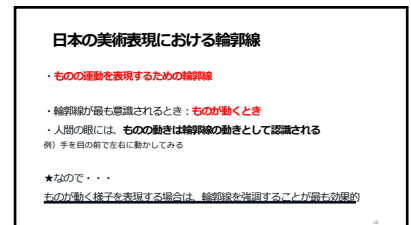
15



16



17



18



※西洋絵画には輪郭線がない  
→西洋絵画：静止したものを描こうとする  
例) 静物画




・(静物) カラヴァッジョ  
・(静物) サントロニオ・デルポロ・シネラダ  
・(静物) ルブール

※三次元(現実)の物体には、輪郭線は存在しない  
→西洋絵画のように対象を三次元的に見えようとする場合、輪郭を強調する必要はない

19

つまり・・・


- ・日本画における輪郭線は、**もの**の運動を表現するためのもの
- ・人間(動物)にとって大事なものは、**もの**の動き方の情報  
例) 鳥獣人物戯画の戯や呪



20

※実習題

- テーマ：真・行・草-線で描く-
- 内容：墨と筆を使い、水仙を真・行・草(3つの描き方)で描く
- 技法・制作物：墨絵、白描画



21

- 制作目標
- ①墨絵(白描画)の表現技法を身に付ける
- ②伝統的な材料、用具の特性、独特な色彩効果と余白の美など日本の美術作品にある美意識や自然観について触れ、考えを深める

22

- ①「真・行・草」それぞれの表現の面白さや魅力を描いて知る  
→中国の真・行・草、「三體論語」
- ②墨絵・白描画の表現に触れる  
→筆と墨を使った輪郭線による表現など、日本の美術文化・表現に触れる、楽しむ

23

- 制作スケジュール ※全3回
- ①(今日)説明・鑑賞、描き方のレクチャー、  
なぞって描く(ワークシート①提出)
- ②見て、まねて描く(ワークシート②提出)  
(手本の白描画を見て、まねて描く)
- ③真・行・草で描く(作品提出)  
(水仙を観察し、真・行・草で描く)

24

3.レクチャー  
白描画の描き方



25

★レクチャー★  
描き方の説明、実演

★前の机に  
集合してください★



26

4.制作  
墨と筆で描いてみよう



27

**ワークシート①：筆と墨で描いてみよう**

◎「三體画譜」のなぞり描き◎

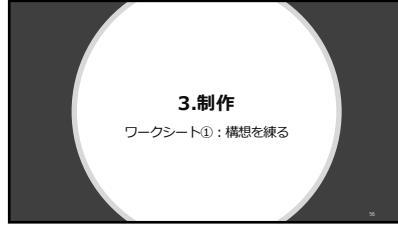
①手本(元の三體画譜)の上に半紙を置く

②上から線をなぞって描く

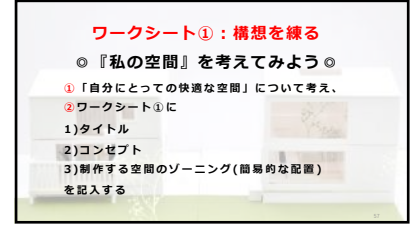
③授業終了後、提出



55



56



57